

ひいかわ かんどがわ

斐伊川・神戸川 流域環境マップ

世界を
描きなおす
あなたの
発見!

2022報告書



2023年2月

主催：NPO法人しまね体験活動支援センター
共催：島根県中山間地域研究センター
主幹：斐伊川・神戸川流域圏小・中学校他

この事業は（公財）河川財団の河川基金助成事業、（一社）中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受けています。



河川基金

宇宙から見た斐伊川・神戸川流域

撮影衛星：Terra/ASTER

解像度：15m

撮影日：

・出雲部 2003/4/10

・石見部 2001/4/4

衛星画像処理：作野 裕司
(広島大学大学院工学研究科)

ASTERは可視光の赤波長、緑波長、そして近赤外波長、合計3波長の画像を撮影しています。この画像は3波長のASTERデータを使って、自然色になるよう合成してあります。

も く じ

はじめに	2
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの概要	4
2022年度の活動	13
春の指導者研修会	14
第16回「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」成果発表会報告	15
新聞掲載	17
調査について	18
Web-GISでのマップづくり	20
調査参加校等一覧	21
調査参加校等マップ	22
指導教員対象アンケートの結果	23
学校からの報告	25
春・夏の調査地点	36
春の調査ポイント一覧【基本・コメント編】	37
春の調査ポイント一覧【生物・ゴミ・水質編】	38
秋の調査地点	39
秋の調査ポイント一覧【基本・コメント編】	40
秋の調査ポイント一覧【生物・ゴミ・水質編】	40
調査風景	41
総合分析マップ	43
きれいな水にすむ生き物	46
ややきれいな水にすむ生き物	52
きたない水にすむ生き物	57
とてもきたない水にすむ生き物	61
きれいな水・ややきれいな水の両方にすむ生き物	64

はじめに

16年目の斐伊川・神戸川流域環境マップづくり

NPO法人しまね体験活動支援センター 理事長 青木 充之

今年もコロナ禍の中で第16回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり調査が10小学校、1高等学校計11校で行われ、成果発表会が11月23日（水祝日）に出雲科学館で開催されました。

新型コロナに対処して、発表校を3校に絞り、参加者にも制限を加え、万全の対策を講じて開催しました。発表校は、演劇仕立てで堂々と、ハッキリとした口調と発声で発表しました。水生生物の調査はもちろんのこと、上流から下流へと調査を広げたり、下水道の水の浄化を学んだり、五感を使って調査をしたり、川や海を綺麗にすることは森林を綺麗にすることだと学んだり、3校の特徴が明瞭に発揮されていました。

一昔前、神戸川には、四つ手網漁という漁法があり、随所に四つ手網が見られ懐かしく思い出しますが、近年は神戸川の一カ所のみとなりました。人々は、川や自然を Wise use（賢明な、上手な利用）して恩恵を受けていましたが、国連が提唱する Sustainable（持続可能な）環境づくりが益々重要な時代を迎えています。

私たちの斐伊川・神戸川流域環境マップづくり事業が Sustainable な環境づくりに一役買える事を願って継続してまいりたいと考えています。

今後とも、皆様方のさらなるご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

「地域への関心を高め、ふるさとへの愛着を育む取り組みとして期待」

鳥根県中山間地域研究センター 所長 林 一彦

「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」は、鳥根県中山間地域研究センターが平成14年度からGIS（地理情報システム）を活用した地域づくりの一環として取り組んだ「参加型 Web-GIS」事業の第1号モデルとして始まり、今年度で21年目を迎えました。

また、NPO法人しまね体験活動支援センターが設立され、調査範囲を神戸川流域から斐伊川流域に拡大してから16年目を迎えています。

永きにわたりこの取り組みが継続できているのは、調査に参加してこられた歴代の児童、生徒の皆さん、保護者の皆さん、ご指導いただきました先生や地域の皆さん、ご協力いただきました国土交通省をはじめとする関係機関の皆さんの熱意の賜であると、敬意を表するとともに厚く御礼申し上げます。

この取り組みは、河川調査をきっかけとして河川の保全活動について考えてもらうなど、子どもたちに環境学習の場を提供する役割を果たしていると同時に、ふるさとを愛する人づくりの一環として、地域の自然の豊かさや環境のすばらしさを保護者や地域の皆さんと一緒に体感してもらい、地域に対する興味関心を高め、ふるさとへの愛着を育んでももらう役割も果たしているものと考えています。

今後も、こうした取り組みを通じて、参加した多くの子どもたちが、ふるさとへの愛着を育み、やがては地域を支えていく人材として成長されていくことを期待しています。

斐伊川・神戸川から与えられる恵み

国土交通省 出雲河川事務所長 小谷 哲也

私たちの先祖が、初めて斐伊川の流域で暮らし始めてから、幾年の歳月が流れてきたことでしょう。

斐伊川は、少なくとも「日本書紀」や「出雲風土記」などに、その名が記されてから千数百年。「簸の川上」や「斐伊の大川」など、時代とともにその呼び名を変えながらも、今も変わることなく、その豊かな水により、私たちの暮らしに多くの恵みを与えてくれるとともに、時には八岐大蛇の鋭い牙がごとく、洪水を引き起こし私たちの暮らしに大きな被害をもたらすこともあります。

斐伊川は、江戸時代の頃より始まった砂鉄採取のための「鉄穴流し」により、多くの砂が上流から下流へ流送され「天井川」に姿を変えると同時に、幾多の氾濫を繰り返し多くの被害をもたらすたび、人々は洪水とともに運ばれる土砂を利用し、現在の出雲平野という豊かな土地を生み出しました。

この時代に暮らす私たちを含め多くの先人達が斐伊川とともに暮らし、そこからもたらされる恵みに感謝し、幾多の試練を乗り越えてきました。

これからの時代を担う多くの子どもたちが、これまで続けてこられた「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり」を通じ、斐伊川・神戸川から与えられる恵みを感じ、ふるさとを大切に守り・育てていただくことを願いつつ、出雲河川事務所は、これからも地域の皆様方とともに、斐伊川・神戸川を安全・安心、そして豊かな川として整え守ってまいります。

最後に、この活動を長年継続されているNPO法人しまね体験活動支援センターの関係者の皆様に敬意を表すと同時に、より多くの方々にこの活動の価値や大切さが伝わっていくことを期待します。

直接体験から学ぶことの大切さ

出雲市教育委員会 教育政策課 社会教育係 森脇 淳志

令和4年度「斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」が、NPO法人しまね体験活動支援センター及び島根県中山間地域研究センターの皆様方のご尽力により開催されました。今年度は3校の児童の皆さんが、河川に出かけて実施した環境調査や環境保護活動の取組、成果について発表されました。

昨今新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、直接体験の機会が縮小することに併せ、ICTを活用した学びの環境が整備され、以前よりバーチャルな体験が増えている状況があります。しかし、そのような状況であるからこそ、児童の皆さんが五感で自然を感じ、「感動」「達成感」「生命尊重」等を直接体験されたことには大きな意義があると考えます。

発表の中にも、「分かったこと、考えたことを家族や地域の方に伝えていきたい。」など、それぞれの学びの成果をさらに広げていこうとする意欲の高まりを感じました。

また、地域の「ひと・もの・こと」への積極的な関わりをとおして、地域のよさを見つめ直し、環境を守る清掃活動につなげるなど、地域への貢献意識の高まりにも感心しました。

このように、本事業は児童の皆さんが地域での環境学習をとおして、自分たちの生活や地域について関心を高め、地域のために何ができるのかを考え、行動につなげることのできる素晴らしい事業です。各学校での取組が継続されることにより、児童の皆さんが豊かな体験による学びを積み重ね、健やかに成長していくとともに、地域の素晴らしい自然環境を地域全体で大切にしていける機運が醸成されていくことと思います。最後になりますが、今後も各学校の取組がより一層充実することを期待し、ご挨拶といたします。

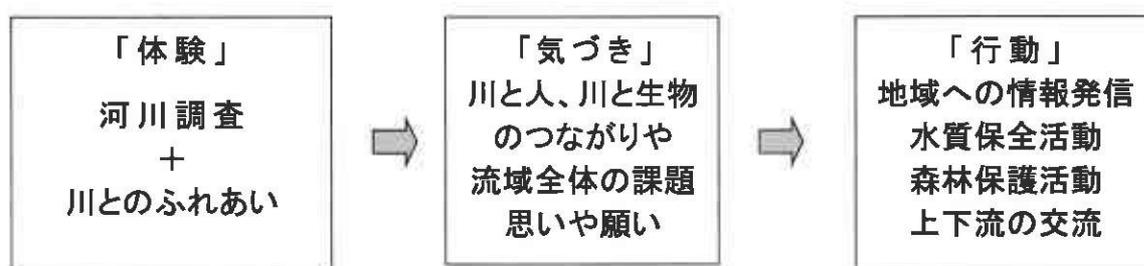
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの概要

◆ねらい

ふるさと学習を通じての「ふるさとを愛する人づくり」の一環として、また、流域全体の河川環境学習の一環として、2002年から神戸川を活用した「川の環境マップづくり」に取り組んできました。平成19(2007)年からは、斐伊川流域まで範囲を拡大して河川環境マップづくりを行いました。

川での調査体験活動の取り組みと、そこから感じられた様々な気づきや地域環境への願いなどを子ども達が流域全体に情報発信していきます。

ふるさとを愛する人づくり・河川環境学習の推進



◆実施機関

主催：NPO 法人 しまね体験活動支援センター

主幹：斐伊川・神戸川流域圏小中学校（2市2町の小中学校等が対象（2022年度））等

共催：島根県中山間地域研究センター

ひいかわ

◆斐伊川の概要

源流：島根県・鳥取県の県境船通山（標高 1,142.5m） 延長：約 153km

流域は、上流から宍道湖に流入する斐伊川本線流域と、汽水湖である宍道湖の流域、中海の流域の3つに大別されます。斐伊川は典型的な砂河川で、全国でもまれな「天井川」として知られています。上流部では昔「たたら製鉄」が行われていました。宍道湖・中海については水深は比較的浅く、また日本海との平均水位差が数cm～数10cmと小さいため、淡水と海水が入り混じった「汽水湖」で、西日本最大級の冬鳥の飛来地としても有名です。

かんどがわ

◆神戸川の概要

源流：飯石郡飯南町南端女亀山（標高 830m） 延長：約 82km

神戸川は流域の約80%が山地で、川は『出雲国風土記』にも登場し古来から親しまれています。斐伊川神戸川治水（合流）事業により飯南町には志津見ダムが完成、下流部出雲市では2013年に斐伊川放水路工事が完成し洪水時に分水が開始されました。2006年8月1日からは神戸川は1級河川に指定され、斐伊川流域に編入されました。

◆参加校等（公民館含む）

飯南町 【小学校】 赤名、頓原、来島、志々

出雲市 【小学校】 神戸川、須佐、多伎
【中学校】 佐田 【高等学校】 出雲西

雲南市 【小学校】 大東、阿用

奥出雲町

◆内容

- ①調査は春・夏・秋に分けて実施します。
- ②各学校付近で実際に川に入って、指標生物やゴミ、水質（pH、COD）などを調査します。
- ③指標生物を分析し、種類・数から水質判定します。
（国土交通省・環境省の指標を採用）
- ④調査地点ごとに調査結果（指標生物数、感想、写真など）を、各学校からインターネットを使って島根県のホームページの「マップ on しまね」～島根県統合型GIS～に入力します。
- ⑤流域全体の河川環境マップが完成します。

公開先 **島根県ホームページ**

「マップ on しまね(島根県統合型 GIS)」

参加型マップ／斐伊川・神戸川流域環境マップ



↑川に入って生物探し



↑水生昆虫識別中



（上）各学校から入力された情報で完成した斐伊川・神戸川流域環境マップの画面。地図のをクリックすると調査結果や感想、写真などを見ることができます。

※その他、源流や河口への見学、流域全体の水質調査、川のゴミ拾いやゴミの分類調査、水質浄化の取り組みを冊子にまとめ配布する活動、ホタル調査やホタル学習、地域で河川調査の成果を発表する活動などを実施している学校や公民館もあります。

◆協力機関

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

公益財団法人河川財団、一般社団法人中国建設弘済会、島根県、出雲市教育委員会、雲南市教育委員会、飯南町教育委員会、奥出雲町教育委員会、島根地理学会、公益財団法人島根県環境保健公社、島根県立宍道湖自然館ゴビウス他

◆これまでの活動

2002年からの通算48回、のべ16,199人もの子どもたちが参加しました。

調査時期	参加校等	参加者	調査地点	調査期間	統一調査日	
H14	秋	29	1108	54	9/11～10/11	9/12
H15	春	18	985	34	5/26～6/20	6/5
	秋	28	1135	58	9/2～9/30	9/18
H16	春	24	810	48	6/1～6/30	6/9
	秋	13	396	29	9/1～9/30	9/9
H17	春	14	633	31	6/1～7/15	7/7
	秋	17	501	47	9/1～9/30	9/9
H18	春	12	261	16	6/6～7/7	6/12～6/16
	秋	11	379	17	9/4～10/4	9/11～9/15
H19	春	28	226	18	6/4～7/13	なし
	秋	14	400	13	9/3～10/5	なし
H20	春	17	386	29	5/27～7/18	なし
	秋	16	490	23	9/1～10/10	なし
H21	春	23	478	29	5/28～7/18	なし
	夏	5	75		7/19～8/31	なし
	秋	24	711	24	9/1～10/25	なし
H22	春	11	206	16	5月～7月	なし
	夏	9	189		7月～8月	なし
	秋	20	610	23	9月～11月	なし
H23	春	14	301		5月～7月	なし
	夏	8	127		7月～8月	なし
	秋	17	378		9月～11月	なし
H24	春	14	241		5月～7月	なし
	夏	10	207		7月～8月	なし
	秋	13	305		9月～11月	なし
H25	春	9	178		5月～7月	なし
	夏	10	259		7月～8月	なし
	秋	12	278		9月～11月	なし
H26	春	9	262		5月～7月	なし
	夏	7	97		7月～8月	なし
	秋	10	176		9月～11月	なし
H27	春	11	225		5月～7月	なし
	夏	4	43		7月～8月	なし
	秋	11	231		9月～11月	なし
H28	春	7	168		5月～7月	なし
	夏	6	122		7月～8月	なし
	秋	8	206		9月～11月	なし

H29	春	9	193		5月～7月	なし
	夏	6	67		7月～8月	なし
	秋	9	228		9月～11月	なし
H30	春	8	144		5月～7月	なし
	夏	6	185		7月～8月	なし
	秋	6	104		9月～11月	なし
R1	春	8	164		5月～7月	なし
	夏	2	28		7月～8月	なし
	秋	9	282		9月～11月	なし
R2	春	3	40		5月～7月	なし
	夏	5	57		7月～8月	なし
	秋	8	217		9月～11月	なし
R3	春	8	141		5月～7月	なし
	夏	4	45		7月～8月	なし
	秋	7	193		9月～11月	なし
R4	春	7	107		5月～7月	なし
	夏	2	24		7月～8月	なし
	秋	5	197		9月～11月	なし

◆主なできごと

H14 (2002) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・赤来町・頓原町・佐田町・出雲市・大社町の小中学校 29 校でスタート ・9月、Web-GIS の第 1 号プロジェクトとして第 1 回調査・マップへの入力を開始 	
H15 (2003) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸川流域環境学習推進協議会を設立 ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・新たに多伎町・掛合町が加わり、計 33 校が参加 ・調査を春と秋の 2 回実施することを決定 ・横断幕、のぼりを作成し配布 ・2月 21 日成果発表会(島根県中山間地域研究センター) 	
H16 (2004) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・8月 7 日「水環境フェア 2004in 新潟」で中国地区の代表として発表 ・10月 28 日「河川整備基金助成事業成果発表会」(東京)で発表 ・源流/河川ツアーやゴミ拾いなど流域での活動が活発になる ・2月 19 日成果発表会(島根県中山間地域研究センター) 	
H17 (2005) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・旧飯南町立谷小学校、小田小学校が閉校 ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・(社)日本河川協会平成 17 年度通常総会において、河川功労者表彰を受ける ・市町村合併により、出雲市・雲南市・飯南町の 3 市町となる ・11月 12 日源流ツアー&成果発表会を開催(飯南町 ふれあいホールみせん) ・学校交流、源流・河口への見学、学校から離れたところの調査などが活発になる 	

H18 (2006) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・雲南市立吉田小学校が加わり、対象校は 32 校に ・7月 16 日～19 日にかけての大雨で神戸川が氾濫し、浸水被害などが発生 ・8月 1 日 斐伊川流域への編入、神戸川は 1 級河川に ・8月 7, 8 日「水環境フェア 2006in 松江」開催 ・8月 14 日～17 日「東アジア環境教育ミーティング」で神戸川を視察 ・2月 (財)日本河川環境管理財団発行の『水辺から学ぼう』第 5 号市民団体活動事例集に神戸川流域環境学習推進協議会の学校教育支援活動が 4 ページに渡って紹介され、全国に配布される
H19 (2007) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸川流域環境学習推進協議会などが母体となって 2007 年 2 月に設立された「NPO 法人 しまね体験活動支援センター」が事業の主催者となる ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・神戸川の災害復旧工事が進行し川のにごりが続く ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川で開催 ・5月 第 1 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 スタート時 33 校参加 ・「平成 18 年度の神戸川流域マップづくり」が(財)河川環境管理財団の『平成 19 年度河川整備基金助成事業優秀成果』に選定 (採択件数 351 件の内 45 件) ・11 月 23 日(祝)「第 1 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し 6 校が発表 (出雲科学館) ・国土交通省出雲河川事務所の「川の語りべ」候補者調査に協力
H20 (2008) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第 2 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 スタート時 28 校と 1 公民館参加(公民館の参加は初) ・11 月 「神戸川史」作成のため「未来に神戸川の歴史を伝える会」発足 ・11 月 22 日(土) 出雲科学館において「第 2 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し小学校 3 校、中学校 1 校、公民館 1 館が発表
H21 (2009) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、(財)しまね自然と環境財団のふれあい環境助成金の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第 3 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始(環境学習施設初参加) ・11 月 23 日(月・祝) 出雲科学館において「第 3 回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し小学校 3 校、中学校 2 校、環境学習施設 1 館が発表 ・2月 22 日 神戸川史作成協議会が未来に神戸川の歴史を伝える「神戸川史」を発刊し、その中で 2 ページを使って斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを紹介

H22 (2010) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)しまね自然と環境財団「ふれあい環境助成金」、社団法人中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成制度」、全労済「2010年全労済地域貢献助成事業」の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第4回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月23日(火・祝) 出雲科学館において「第4回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立岐久小学校、出雲市立鱒淵小学校、飯南町立来島小学校の3校が発表 ・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道され、出雲ケーブルテレビでも放映される
H23 (2011) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、社団法人中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成制度」の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を斐伊川(雲南市木次町)で開催 ・5月 第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・6月 中国地方地域づくり等助成事業報告会(広島市)で取り組みを発表 ・11月23日(水・祝) 出雲科学館において流域全体で取り組む河川環境保全活動「第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会の3校と1団体が発表 ・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道され、出雲ケーブルテレビでも発表の様子が放映される
H24 (2012) 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)河川環境管理財団の河川整備基金、一般財団法人セブニーイレブン記念財団「2012年度公募助成」の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・5月 第6回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・6月 (公社)日本河川協会より河川功労者表彰を受賞 ・9月 島根県主催「神戸川の河川環境に関する専門委員会」で河川環境マップづくりの取り組みと水質の変化及び水質改善に関する意見を発表 ・11月23日(金・祝) 出雲科学館において「第6回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立須佐小学校、雲南市立吉田小学校、飯南町立志々小学校、奥出雲町立阿井小学校の4校が発表 ・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道される ・12月 「神戸川の河川環境に関する専門委員会」で意見発表
H25 (2013) 年度	<ul style="list-style-type: none"> (公財)河川財団の河川助成事業、(公)しまね自然と環境財団の助成を受ける ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・5月 第7回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月 (公財)河川財団より『平成25年度河川整備基金助成事業優秀成果』に選定(応募364件、採択件数283件の中から選定) ・11月23日(土・祝) 出雲科学館において「第7回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立朝山小学校、出雲市立鱒淵小学校、飯南町立頓原小学校、奥出雲町立八川小学校の4校が発表 ・11月末 島根日日新聞、山陰中央新報に成果発表会の様子が報道された 参加学校数18、公民館1、延べ参加者数715人

<p>H26 (2014) 年度</p>	<p>(公財)河川財団の河川助成事業、(公)しまね自然と環境財団の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・5月 第8回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月23日(日・祝) 出雲科学館において「第8回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、奥出雲町立三沢小学校、出雲西高等学校、奥出雲町立布勢公民館の3校と1公民館が発表 ・11月末 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された 参加学校数16(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数535人 ・3月 国土交通省(出雲河川事務所)の河川協力団体として登録
<p>H27 (2015) 年度</p>	<p>(公財)河川財団の河川助成事業、全労済の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 河川協力団体として活動を開始する ・6月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第9回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月23日(月・祝) 出雲科学館において「第9回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立赤名小学校、出雲市立神戸川小学校、雲南市立西日登小学校の3校が発表 ・11月24日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された 参加学校数16(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数499人
<p>H28 (2016) 年度</p>	<p>(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第10回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月23日(水・祝) 出雲科学館において「第10回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、出雲市立岐久小学校が発表 ・同日同会場において斐伊川・神戸川流域環境マップづくり10周年を記念して、約130名が参加し「斐伊川・神戸川子どもシンポジウム」を開催した ・11月27日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された 参加学校数14(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数496人
<p>H29 (2017) 年度</p>	<p>(公財)河川財団の河川基金助成事業、しまね社会貢献基金活動支援金の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第11回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・6月 (一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業報告会」(広島市)で発表。敢闘賞を受賞 ・11月公益財団法人河川財団より平成28年度助成事業「川づくり団体部門」優秀成果表彰団体に選出される ・11月23日(木・祝) 出雲科学館において「第11回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立頼原小学校、出雲市立須佐小学校、出雲市立大社中学校科学部、雲南市立大東中学校、出雲西高等学校インターアクトクラブが発表 ・11月25日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された ・1月「平成28年度川づくり団体全国事例発表会」(東京大学小柴ホール)で発表 参加学校数13(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数488人

<p>H30 (2018) 年度</p>	<p>(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第12回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・11月24日(土) 出雲科学館において「第12回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、出雲市立神戸川小学校、出雲市立鱒淵小学校、奥出雲町立阿井小学校が発表 ・11月26日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された ・12月16日 <u>国土交通省よりの優れた地域づくり活動に与えられる「手づくり郷土賞(一般部門)」を受賞し、東京国際交流館プラザ平成で行われた記念発表会に参加</u> ・1月「平成29年度川づくり団体全国事例発表会」(東京大学小柴ホール)のポスターセッションで河川環境マップづくり事例発表 ・2月出雲市役所で行われた国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」授与式に参加 参加学校数11(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数433人
<p>R1 (2019) 年度</p>	<p>(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第13回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・10月公益財団法人河川財団より平成30年度助成事業「川づくり団体部門」の<u>優秀成果表彰団体に選出される</u> ・11月24日(日) 出雲科学館において「第13回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立鳥上小学校、出雲市立多伎小学校、奥出雲町立布勢公民館が発表 ・11月26日 島根日日新聞に成果発表会の様子が報道された ・2月「平成30年度川づくり団体全国事例発表会」(東京大学山上会館)「川づくり団体部門」優秀成果団体表彰式に出席しポスターセッションで河川環境マップづくりの取り組み事例を発表 参加学校数11(高等学校1含む)、公民館1、延べ参加者数474人
<p>R2 (2020) 年度</p>	<p>(公財)河川財団の河川基金助成事業、「しまね社会貢献基金」活動支援金の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第14回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」夏休みに親子水質調査体験活動を初めて開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加者は5組13名で開催 ・11月21日(土) 出雲科学館において「第14回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立志々小学校、雲南市立大東小学校、出雲市立佐田中学校の3校が発表 ・11月下旬 山陰中央新報・島根日日新聞と出雲ケーブルビジョンで成果発表会の様子が報道された 参加学校数12(高等学校1含む)、延べ参加者数314人

R3(2021) 年度	<p>(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第15回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」夏休みに親子水質調査体験活動を開催 日程変更のため参加者は4組8名で開催 ・11月20日(土) 出雲科学館において「第15回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立頓原小学校、出雲市立多伎小学校、奥出雲町立阿井小学校、出雲西高等学校の4校が発表 ・11月下旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された 参加学校・公民館数12(高等学校1、公民館1含む)、延べ参加者数379人
R4(2022) 年度	<p>(公財)河川財団の河川基金助成事業、(一社)中国建設弘済会「中国地方地域づくり等助成事業」の助成を受ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月 理事長・事務局長が新出雲市長・出雲市教育委員会教育長を訪ね斐伊川・神戸川流域環境マップづくりの活動を紹介し継続的な支援を要請 ・5月 河川調査指導者研修会を神戸川(出雲市乙立町立久恵峡)で開催 ・6月 第16回斐伊川・神戸川流域環境マップづくりを開始 ・8月 船で出かけて「夏の宍道湖を調べよう！」夏休み親子で水質調査体験活動は新型コロナウイルス感染拡大の影響でやむなく中止とした ・11月23日(水・祝) 出雲科学館において「第16回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会」を開催し、飯南町立来島小学校、出雲市立須佐小学校、出雲市立神戸川小学校の3校が発表 ・11月下旬 島根日日新聞で成果発表会の様子が報道された 参加学校数11(高等学校1含む)、延べ参加者数328人



斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 第16回成果発表会